

みんなで楽しむ

ふれあいの広場について



織田 唯希 さん

迷路で楽しく鬼ごっこができたり、長いすべり台やアスレチック遊具のある、自然と触れあえるような遊び場をつくり、子どもとお年寄りがふれ合う楽しい広場があると思います。

答

これからは、少子高齢化の時代で、子どもからお年寄りまで安全で楽しんでふれ合える広場や公園づくりはたいせつな課題です。

地域のみなさんで地域にあった公園を自ら考え、市と地域のみなさんですべきことを分担して取り組んでいくことがたいせつであると思います。

荒土の山に

広葉樹を増やそう



黒田 成美 さん

広葉樹を植林で増やして、熊対策や

洪水、土砂災害の予防に役立てると共に、荒土の美しい自然をさらに美しく守っていききたいと思います。

答

森林は地球温暖化防止対策の大きな役割を果たしており、今後とも国、県や関係機関と連携しながら、広葉樹も含め森林整備に努めていきます。

また、自然は勝山の大切な遺産であり、市民が協力して守っていくことが大切であり、このような意識が美しい自然を守り、誇れる地域を生み出すこととなります。

「野向っこ遊歩道」

パートⅡ



山内 美里 さん

昨年整備した遊歩道が、熊の出没で壊されたので、今年は補修作業や「野向っこ遊歩道の歌」を作りました。今年作った遊具などを熊から守ってください。

答

熊の生活圏の環境を整えるために、杉やヒノキを伐採したら、その上部に実のなる広葉樹を植え、その下側に杉やヒノキを植えるようにしますが、長い時間かかる環境づくり

です。今年は、昨年ほどには熊が出ないと思いますが、有害鳥獣の駆除隊のかたとも相談しながら、被害の出ないよう努力します。

身の回りのごみ問題に

目を向けよう



滝川 直樹 さん

きれいな町になるよう、ごみ箱の設置や、ポイ捨て・不法投棄に対する呼びかけ活動の強化、ごみのリサイクル化に心がけるよう、実現に向けて検討してください。

答

以前にごみ箱を設置し、その管理ができずに撤去してます。不法投棄に対する呼びかけとして、市広報や市ホームページでPR活動していますが、今後もいろんな機会をとらえて粘り強く広報活動に当たります。

ごみの分別は、リサイクルを念頭に置いた分別方式を採用することを、大野市と勝山市で協議しています。

また、牛乳パックや発泡トレイの回収運動は、今後も継続して実施していきます。

勝山市発展のための
施設環境整備について



前田 将登 さん

川を利用したフル作りや勝山の特徴を活かした企業の誘致で、勝山の活性化を図り、人口増加につなげてはどうでしょうか。

答

九頭竜川を管理している県の勝山土木事務所や「九頭竜川がき隊」のイベントを企画した青年会議所のかたがたと話し合い、自然の川の中で安全に遊べる場所づくりについて考えていきます。

また、企業誘致は自治体間競争が激しいですが、豊かな自然環境や豊富な地下水を求める企業に対して、誘致活動を進めていきたいと考えています。

廃校校舎・施設の

再利用について



浦 由布子 さん

少子化の影響で廃校になる校舎や施

設を有効利用して、お年寄りが集まりやすい場所や、体験学習の場、店を持ちたい若者へのテナントの貸し出しやサークル活動の場づくりを進めてはどうでしょうか。

答

廃校となった場合、音楽や演劇の練習施設といった利用も有効ですし、貸店舗は若者の定着とまちの活性化に必要です。また、体験型観光は勝山市の自然、歴史、文化遺産を活かす有意義な取り組みでもあります。民間活力の利用や学校のある地区の地域性や特徴を活かした再利用の方法を考え、地域発展の拠点となるよう、しっかりと考えていきたいと思っています。

平泉寺白山神社の

周辺整備継続のお願い



原 駿太郎 さん

歴史のある平泉寺をもっと多くの人に知ってもらうために、六千坊跡の調査や平泉寺町町づくり推進協議会の活動を継続し、菩提林の入り口に駐車場を整備してください。

答

地域でがんばる事業には、費用の一部補助による応援をしていきたいと思います。

自然エネルギーで

勝山市を「未来型のまち」に



藤本 結子 さん

太陽や風や雪などの自然エネルギーを活かした「未来型のまち」にし、「つぐら」や「家庭用雪室」のような昔の人の知恵と現代科学が共に生きている、環境にやさしい街「勝山」をめざしてはどうでしょうか。

答

現在、自然を利用した太陽光や太陽熱あるいは風力といったものが見直されています。人間の知恵にもとづく「つぐら」や「家庭用雪室」を、現代の要請にこたえて機能させることの研究は価値あることだと思えますので、エコミュージウム協議会へ提案してみます。

北谷町をもっと楽しく

元気にするために



杉本 潤一 さん

北谷町の活性化と過疎化対策として、芸術家や技の職人に空き家、空き

地を活用してもらったり、北谷の情報発信基地として、「北谷の物産館」を設置してはどうでしょうか。

答

北谷町は、熱心なエコミュージアムのまちづくり活動が展開されている地域であり、元気の芽が育ってきています。

空き家、空き地の活用については、経費面やニーズ調査、モデル的な取り組みへの研究をしたいと考えています。

また、「鯖のなれずし」を北谷ブランドで商品化できないか検討しており、商業ベースに乗れば、北谷の特産品を扱う物産館の機能を持った施設の設置も夢ではないと考えています。

子ども議会を終えて



議長
浦 由布子さん

とにかく、始まってしばらくは、緊張の連続でしたが、途中から慣れてリラックスできました。議長になるのは、いい機会だと思い引き受けました。事前に書類に目を通し、人の名前や運営の仕方を間違わないように気を配りました。提案したことが、実現されるといいなと思います。

副議長
山内 翔平さん



リハーサルも本番も緊張ばかりでした。議会が終わって、ホッとしています。副議長の話があったときは、相当迷いましたが、せっかくの機会と、思い切ってやることにしました。勝山には、豊かな自然があるので、自然を活かして発展してほしいと思います。そしてみんなが安心して暮らせる勝山になってほしいです。